



令和7年度



杉並区立 井草中学校 学 校 要 覧

校 歌

森脇 一夫 作詞
渡辺 浦人 作曲

一、武蔵野遠く かぎろいて

けやきの梢 けぶるとき

つつじの花も 咲きにおい

燃ゆる希望は ときめきぬ

真理きわめん わが学び舎

井草中学 栄えあれ

二、富士くれないに 夕映えて

豊旗雲の なびくとき

かなたの森も うちそよぎ

久遠の理想 芽ぐみきぬ

道義高めん わが学び舎

井草中学 誇りあれ

三、学びの庭に 木魂する

歓喜の声の 満つるとき

紅き血潮も 高鳴りて

描く未来の 新日本

勤労たのし わが学び舎

井草中学 永遠にあれ

校章の
いわれ

この井草の地域は、武蔵野台地特有の湧水・河川が多く、とりわけ善福寺池とそこから流れる清流は、幾多の草木を繁茂させました。

本校周辺は、この地特有の「おぎ」をはじめ、いろいろな植物の密生地でした。

そこで、本校の校章は、「中」の字の中にこれらの植物の葉を図案化して作られています。

昭和23年、創立後まもなく生徒から校章の図案を募集し、その中の作品に美術の教師が手を加えて制定したものです。

沿 革

昭和23	3.31	● 初代校長 浅沼茂一 着任	平成 12	4. 1	● 第十三代校長 暮日耕兒 着任
	4. 5	● 杉並区立桃井第一小学校内仮校舎で 仮杉並区立井荻第二中学校として開校		8.31	● 校舎排水管改修工事完了 ● 校舎自動火災報知器取替工事完了
24	4.27	● 杉並区立井草中学校と校名決定	14	7.27	● 花壇増設
	6. 1	● 新校舎8教室落成・開校記念日の制定		11.25	● 落ち葉溜設置
25	8.29	● 2教室増築落成	15	8.31	● 新調理室（本校舎内）工事完了 ● 新被服室（新校舎内）工事完了
26	4. 1	● 第二代校長 高橋常吉 着任	16	3. 3	● グリーンアドベンチャー校内コース完成
27	6.13	● 校庭、垣根、並びに正門工事完了		3. 5	● 心身障害学級施設工事完了
28	6. 1	● 創立五周年記念式典挙行		4. 1	● 第十四代校長 寺田節子 着任 ● 心身障害学級開設（1学級生徒5名）
	12.25	● 校旗制定	17	4. 1	● 特別支援教育モデル校指定
29	3. 9	● 校歌発表会	18	4. 1	● 杉並区教育委員会研究奨励校指定 ● 給食調理業務民間委託指定 ● 警備用業務民間委託モデル校指定 ● 学校経営第三者診断モデル校指定
30	9.10	● 文部省産業教育指定校に決定	19	4. 1	● 地域運営学校指定
	10. 1	● 第三代校長 三輪正明 着任	20	1.15	● 杉並区教育委員会研究奨励校研究発表
31	12.26	● 産業指定による特別教室落成		11. 1	● 創立六十周年記念式典挙行
32	6.13	● 産業教育の研究発表会	21	4. 1	● 杉並区教育課題研究校指定
33	3.11	● 創立十周年記念式典挙行	22	3.31	● 仮設校舎へ移転
35	3.10	● 体育館落成	23	10. 1	● 第十五代校長 池田武男 着任
37	3.12	● 鉄筋校舎8教室改築落成		10.31	● 新体育館竣工
	4. 1	● 第四代校長 幸田 逸 着任	24	12.15	● 新校舎AB棟竣工
39	5.30	● プール完成		8.20	● 新校舎C棟竣工
40	2.28	● 鉄筋校舎8教室増築落成	25	11. 6	● 新校舎落成式典
42	4. 1	● 第五代校長 西田亮哲 着任		3.18	● 校庭完成
43	3.31	● 鉄筋校舎3教室管理室増築落成	26	6. 1	● 校舎落成祝賀会
	9.10	● 創立二十周年記念式典挙行	27	4. 1	● 第十六代校長 大野正人 着任
44	3.31	● 鉄筋校舎4教室増築落成		12. 8	● 杉並区教育委員会教育課題研究指定校発表 (特別支援教育・ICT)
	4. 1	● 第六代校長 小松福智郎 着任	28	4. 1	● 教育目標改訂
50	4. 1	● 第七代校長 嶋田 進 着任		28	● 環境エコプロジェクト 加湿空気清浄機教室設置
	4.23	● 鉄筋校舎特別教室増築落成	29	● 杉並区「歯と口の健康づくり推進事業」実施校 ● 杉並区「学校図書館活用実践校」 ● オリンピック・パラリンピック教育「豊かな 国際感覚」東京都教育委員会指定調査校	
52	3.23	● 体育館ステージ完成		30	● 創立七十周年を祝う会
53	10. 4	● 創立三十周年記念式典挙行	令和元	4. 1	● 第十七代校長 松浦素明 着任
54	9.20	● 鉄筋校舎特別教室棟完成		7.12	● 体育館エアコン工事完了
55	4. 1	● 第八代校長 宿谷忠明 着任	4	4. 1	● 第十八代校長 田口克敏 着任
58	4. 1	● 第九代校長 宮坂時義 着任		5	● 杉並区教育委員会教育課題指定研究校
59	9. 7	● 本校舎窓枠取替、体育館床等工事完了	7	2. 1	● 第十九代校長 今泉智英 着任
61	4. 1	● 第十代校長 横山義人 着任			
63	10.29	● 創立四十周年記念式典挙行			
平成 2	4. 1	● 第十一代校長 小野道明 着任 ● ボランティア活動協力校（～4年度）			
	3	● 体育館照明取付工事完了			
3	9.10	● コンピュータ室改修工事完了			
4	3.15	● コンピュータ室改修工事完了			
7	3.17	● 体育館更衣室改修工事完了			
	4. 1	● ボランティア活動モデル校（～9年度）			
	10. 9	● 都教委国際理解教育推進校研究発表			
8	4. 1	● 第十二代校長 大野貴義 着任			
10	10. 3	● 創立五十周年記念式典挙行			

卒業生数

創立以来の卒業生：15,023名

学級編成（令和7年4月現在）

学級編成	学年	1年(i)	2年(i)	3年(i)	計(i)
	学級数	4(1)	5(1)	5(1)	14(3)
計	137(2)	176(9)	173(9)	486(20)	

※()内は i 組(特別支援学級)の人数(外数)

出身小学校別入学者数	出身小学校	令和7年度入学	令和6年度入学	令和5年度入学	令和4年度入学
	桃四小	46	64	55	47
三谷小	61	48	54	41	
四宮小	24	55	43	39	
その他	8	13	25	17	
計	139	180	177	144	

令和7年度 学校経営方針

〔教育目標〕

「**自主自律 ー創造性 豊かな心 健やかな身体ー**」

〔基本理念〕

「**世の中に貢献し、未来を拓くグローバル人材の育成**」

(国際社会に生きる地域人材)

1 目指す学校像

- (1) 学ぶ意義を理解し、主体的に学び考え判断し、自律的に行動できる生徒
- (2) 自己の課題を意識し、目標を設定し、自己実現を図れる生徒
- (3) 自立する意識を自ら育て、国際社会に生きる地域人材として貢献する意欲をもつ生徒
- (4) 自己の心身の健康に関心をもち、たくましさを身に付ける生徒
- (5) 持続可能な社会の担い手として、未来社会を切り拓くための資質・能力を備える生徒

2 目指す生徒像

- (1) 学ぶ意義を理解し、主体的に学び考え判断し、自律的に行動できる生徒で構成される学校
- (2) 誰一人取り残さず、安心して学ぶことができる安全な学校
- (3) それぞれの成長に向けて、生徒・保護者・職員・地域が強い信頼関係で結ばれた学校
- (4) 自己有用感を醸成し、自分らしさを十分に発揮して自己実現を図れる学校
- (5) 人格の完成と時代が求める力の基盤となる力の習得に向け、多様な社会各層と連携協力する学校

3 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科の指導を通して、「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養」を目指す。
- (2) 特別活動の時間を要とし、キャリア教育の指導を通して、「関わる力(他者理解・人間関係形成能力)」「見つける力(自己理解・自己管理能力)」「解決する力(主体的な学び・課題解決能力)」「見通す力(自己実現・キャリアプランニング能力)」を身に付けさせる。
- (3) 学習指導・生活指導・進路指導その他すべての教育活動の基盤となる人権教育を推進する。
- (4) カリキュラム・マネジメントを徹底し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る。
- (5) 世の中の諸事象に対し、生徒・教職員が進んで関心をもち、教育活動に地域人材や多様な機関等を積極的に活用し、社会に開かれた教育活動としての質を向上させるとともに厚みをもたせる。
- (6) すべての教育活動を通して生徒を適切に「見取り(評価し)」、生徒の多様な活動に対し丁寧に「価値づけ(意味づけ)」を行い、活動の成果を生徒が日々実感できる環境を実現する。
- (7) 「学びの構造転換」を、グループ学習などを取り入れた形式的な段階から、学んだことを活用する力を育成するなどの実質的な段階への引き上げる教育実践を推進していく。
- (8) 1人1台専用タブレット端末を使用し、ICTを適切に活用した授業を一層充実させる。
- (9) 各種調査結果を活用し、生徒・教職員の課題を確認し、改善を図りながら、世の中に貢献し未来を切り拓く人材を育成する。
- (10) 「学校運営協議会」「学校支援本部」「地教連」との連携により、いい町・いい学校をつくる。

4 各教科等(各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動)

(1) 各教科

- ①学習指導要領の趣旨を踏まえ、育成すべき「3つの資質・能力」の基盤を構築する教育活動を展開する。
- ②持続可能な社会の担い手として、世の中に貢献し未来を拓くグローバル人材を育成する。
- ③生徒にとって分かりやすく学びごたえのある授業となるよう、その授業の「ねらい」「流れ」「まとめ」を明示する。
- ④生徒による「自己評価」や「定着度調査」を通して、定着を図る上での課題を把握し、「授業改善プラン」に反映させる。
- ⑤定期考査の実施だけでなく、内容や単元のまとまりを意識した単元テスト・小テストの実施により、学習の到達度を細かく確認し、各種資料等を活用することで、適正な評価・評定の実施につなげる。
- ⑥生徒が見通しをもって学習が進められるよう、評価計画を策定し、それぞれの評価材料を各観点別に整えて明示する。
- ⑦「全国学力・学習状況調査」の結果分析と活用により、生徒の学力把握を適正に実施し、改善策を検討し、授業実践につなげる。
- ⑧「学びの構造転換」を推進し、生徒自身に「学ぶ意義」(「なぜ学ぶのか、何を学ぶのか、学ぶことによって何が起ころのか」)を感じさせられる授業を実践する。

(2) 特別の教科 道徳

- ①全体計画を中心に道徳的心情や態度、価値観等事故の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者を思いやり、よりよく生きるための基盤となる道徳性を涵養する。
- ②道徳教育推進教師を中心に、授業参観や各種研修を通して、指導力の向上を図る。
- ③学年所属教員全員による指導体制を継続し、評価方法の研究と改善を進め、毎学期の評価を適正に行う。
- ④保護者や地域の願いを酌みながら、生徒の課題に対応した「道徳授業地区公開講座」を実施する。
- ⑤人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになるよう、「生命の尊さ」を重点項目として指導する。

(3) 総合的な学習の時間

- ①探究的な見方・考え方を働かせ、SDGsを中心とした教科横断的な「総合的な学習の時間」を実施することで、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるための資質・能力を育成する。
- ②生徒自身が「主体的な思考や判断、表現」を追究できる場となる総合的な学習の時間を企画し、生徒の学びを支援する。
- ③「地域協力・協働」「情報リテラシー」「キャリア教育」をテーマとし、自ら考え正しく判断する、自主的・主体的な学習態度を育てる。

(4) 特別活動

- ①「生徒会活動」「学校行事」を始めとする特別活動を、生徒の「主体的な活動」「協働・協力」を実践する場として位置づけ、自分の役割を果たして活動する力や人や社会と関わる力を身に付ける。
- ②組織的・体系的な働きかけによる生徒会活動を通して、社会人・職業人として自立していくために、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通じて、一人一人の発達を促していく。
- ③体育的行事・文化的行事・集団宿泊的行事の実施を通して、基礎的・汎用的能力(関わる力、見つめる力、解決する力、見通す力)の向上を目指す。
- ④基礎的・汎用的能力を身に付けることにより、生徒の「自尊感情」「自己肯定感」を向上させる。

★令和7年度の重点取組

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------------|
| (1) 実質的・実効的な学びの構造転換 | (2) キャリア教育推 | (3) 人権教育推進(いじめ防止) |
| (4) 教師のマネジメントスキルの発揮 | (5) 特別支援教育推進 | |

5 その他の教育活動

(1) 生活指導

- ①生徒指導提要に基づく指導を徹底する。
- ②時間、場所、状況を踏まえた指導を実施する。
- ③月末の「いじめアンケート」の実施に基づき、「学校いじめ対策委員会」を毎月初めに開催する。
- ④「登校支援委員会」を隔週で実施する。
- ⑤生徒が希望する教職員を指定して行う「教育相談週間」を2学期に実施する。
- ⑥「杉並区いじめ防止対策推進基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づく組織的対応を実施する。
- ⑦特別な支援を要する生徒に対し、特別支援教育コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、子ども家庭支援センター、児童相談所、適応指導教室等と連携を図りながら、個に応じた環境整備を推進する。
- ⑧校内の居場所づくりとして「登校支援教室(おあしす)」を開設し、社会的自立・職業的自立に向けた支援を実施する。
- ⑨荻窪警察署のスクールサポーターと連携し、生徒が安心して通うことのできる、安全な学校づくりを行う。

(2) 安全指導

- ①関係各機関との連携による現実的な「危機対応訓練」を通して、多様化する様々な危機への対応力の向上を図る。
- ②「震災救援所訓練」を地域とともに実施する体制を整備し、実際に直面する災害に対する生徒の的確な思考力・判断力・行動力を育成する。
- ③防災教育教材「3.11を忘れない」等を活用した防災教育を実施する。
- ④薬物乱用防止を目的としたセーフティ教室を実施する。

(3) キャリア教育

- ①特別活動の時間を要としたキャリア教育を全面的に展開し、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促し、勉強する意義や意味を考えさせる。
- ②第1学年「職業調べ」、第2学年「職場体験」、第3学年「進路選択」についての指導を通して、関わる力、見つめる力、解決する力、見通す力を養う。
- ③進路指導の実践をキャリア教育の視点から捉え直し、その在り方を見直す指導を充実させる。

(4) 特別支援教育

- ①「特別支援学級(i組)」教育活動との積極的な連携を通して、通常学級生徒に対する「インクルーシブ教育」を推進する。
- ②特別支援教育コーディネーター、教育相談コーディネーターを要とした「支援教育委員会」の開催により、特別支援教育の充実を図る。
- ③「個別指導計画」に基づき、巡回指導教員や特別支援教室専門員による学習支援を中心とした校内体制の充実を図る。
- ④個別の支援が必要な生徒の早期見取りと関連機関との連携強化を推進するとともに、学校支援本部と連携した地域人材を活用した支援体制の構築を図る。

(5) 読書活動の推進その他

- ①生徒全員が学校図書館の図書を利用する環境を整備する。
- ②価値・教養・感性等を涵養することを目的とした「朝読書」を実施する。
- ③検定取得、発表の場を重視し、各種コンクール等への応募を推進する。

教科時数等・部活動

学年・教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	総合	学活	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015

●教科以外の時間表

朝礼・全校集会	月曜日 8:30~8:45	野球	硬式テニス	ソフトテニス	バドミントン	サッカー
道徳	水曜日 第5校時	男子バスケットボール	女子バスケットボール	女子バレーボール	吹奏楽	美術
学級活動	月曜日 第1校時	演劇	コンピューター	フレンドクラブ	茶道	

教職員一覧

	教 職 員				教 職 員			
	氏名	役職	学級担任等	主任等	氏名	役職	学級担任等	主任等
		校長				特別支援教室巡回教員		
		副校長				特別支援教室巡回教員		
		主幹教諭	2副社会	教務主任		特別支援教室巡回教員		
		主幹教諭	3副社会	進路指導主任・人権教育推進リーダー		特別支援教室巡回教員		
		主幹教諭	2 E美術	研究主任		特別支援教室巡回教員		
		主幹教諭	1 E保体	生活指導主任・特別支援教育コーディネーター		特別支援教室巡回教員		
		主任教諭	3 A国語	学年主任		事務主事		
		主任教諭	2 A国語	学年主任		産育休代替	栄養士	
		主任教諭	1 A数学	学年主任		栄養士	育児休業中	
		主任教諭	3 B数学	図書主任		事務職員		
		主任教諭	3 D音楽			事務職員		
		主任教諭	3 E保体			学校司書		
		主任教諭	1 副家庭	食育リーダー		特別支援教室専門員		
		主任教諭	3 C英語	教育相談コーディネーター		スクールカウンセラー		
		主任教諭	3 i 特支(音)	i組学級主任		スクールカウンセラー		
		主任教諭	1 i 特支(英)			学習支援教員		
		主任教諭	3 i 特支(数)			介助員		
		主任養護教諭	1 副養護	保健主任		介助員		
		教諭	1 C国語			講師	保健体育	
		教諭	2 D数学	道徳教育推進リーダー		i組講師	美術	
		教諭	1 B理科			i組講師	技術	
		教諭	2 B理科			i組講師	英語	
		教諭	2 副技術			スクールサポートスタッフ		
		教諭	2 C英語			言語聴覚士		
		教諭	1 副英語			作業療法士		
		教諭	2 i 特支(社)			巡回心理士		
		産育休代替	3 副理科					
		非常勤教諭	1 副社会					
		教諭	理科	育児休業中				
						給食調理	葉隠勇進株式会社	
						主事・警備	ソシオ株式会社	

地域運営学校 — 井草中学校を取り巻く地域力 —



井草中学校は、地域の諸団体の方々々がゲストティーチャーとして学校に赴き生徒に触れ合ってくださいたり、地域で職場体験の生徒を引き受けていただいたり、地域行事等で生徒の演奏や演劇の発表、お祭りの模擬店の参加等、地域全体で生徒を育てています。

学校支援本部“えん”の各活動は、PTAのOB・OGや同窓生・地域青少年育成委員等が中心となって、様々な分野での学校支援活動に主体的に参加しております。



1年 フレンドシップスクール



2年 菅平移動教室



3年 修学旅行



合唱コンクール



i組 夏の連合移動教室

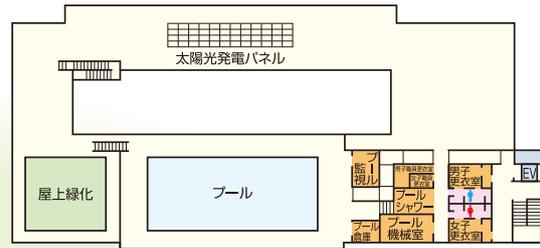


運動会

校舎配置図



2F



4F



1F



3F



アクセスマップ



- 西武新宿線「上井草」駅下車、徒歩6分
- 荻窪駅より西武バス「荻14」石神井公園行き、もしくは「荻15」長久保行き(上井草経由) 約10分 井草中学校下車、徒歩3分
- 荻窪駅より西武バス「荻18」荻窪駅行き(上井草保健センター循環) 上井草スポーツセンター下車、徒歩2分
- 西荻窪駅より関東バス「西50」井草駅行き約7分 農芸高校下車、徒歩5分

杉並区立 井草中学校

〒167-0023 杉並区上井草3-20-11 TEL.03-3390-3144 FAX.03-3390-5571
 i 組 (特別支援学級) 直通 TEL.03-3390-3163
<https://www.suginami-school.ed.jp/igusachu/>

